

再開

## さいたま市スポーツ少年団 海外姉妹都市派遣事業



### CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内

5年ぶりに海外姉妹都市メキシコ・トルーカ市へのサッカー少年団が派遣されました。

7月19日に壮行会が行われ、7月31日に出発、8月7日に帰国しました。選手団16名（団長、監督、コーチ、看護師各1名含む）は、現地でホームステイ、交流試合、観光等で友好の絆を深めました。

メキシコ料理の代表的なトルティア



ホストファミリーと食事



意気揚々と出発式



トルーカ公式歓迎式典



Cosmovital Jardín Botánico（コスモビトラル植物園）で交流を深めました



トルーカの人達と

お別れは涙でハグ



ゴール前の攻防



トルーカのプロサッカーチーム「デポルティーボ・トルーカ」の本拠地ネメシオ・ディアススタジアムにて

健闘を讃え、お互いのユニフォームを交換

帰国式





いらっしやい!! わが家へ

ホームビジット

# Home Visit

6月17日にホームビジットが開催されました。今回は、ホストファミリー 16家庭に、埼玉大学、聖学院大学、与野学院日本語学校から9カ国28名の留学生が分散して訪問しました。

さいたま市内に滞在している留学生に、日本の家庭生活を体験する機会を提供することにより、地域で暮らす市民との交流の輪を広げ、お互いの理解と友好を深め、さいたま市の国際化を推進することを目的として実施されています。

各家庭では、着物を着たり、一緒に料理をして食事を楽しんだり、近所をお散歩したりするなど、それぞれが楽しい時間を過ごしました。参加者の事後アンケートには、「普段の生活では気づかないことを留学生から学びました」「一緒に食事をする過程で、日本の特別なところを知ることができました」といった声が寄せられました。

参加したホストファミリーと留学生の両者とも、楽しく有意義な1日を過ごすことができました。



ホストファミリーと初対面



料理を作っ...



すっかり打解けて、あつという間の体験でした。(左後方、2名の留学生)



いただきます!

※ホームビジットとは、留学生が宿泊せずに一般家庭を訪問し、日常生活の中で文化や習慣に触れるプログラムです。



## 留学生と一緒に和菓子作り！ 文化の違いを超えて交流しよう！

7月17日(月)与野本町コミュニティセンターで市内在住、在学の学生が参加して“ユースカフェ”が開催されました。参加者は日本の学生13名、アメリカ合衆国、タイ、ベトナム、マレーシア、台湾、ロシアからの留学生9名を含め、22名でした。4つのグループに分かれて、いざ和菓子作りに挑戦です。

当日は2種類の和菓子を作りました。一つ目は涼やかな「錦玉羹」です。「錦玉羹」とは寒天と水を煮溶かし砂糖を加えて固め冷やした和菓子です。二つ目は「練り切り」という上生菓子です。材料を丸めて伸ばして富士山の形に整えます。それぞれ思い思いの「富士山」ができ上がり、見せ合っていました。「錦玉羹」作りでお鍋をかき回している時にはまだごちない参加者同士の会話も「富士山」が出来上がる頃には各グループから楽しそうな笑い声が聞こえてくるようになりました。

初めは若い人特有の恥じらいや控え目な態度から打ち解けるのには少し時間かかりました。それでも好奇心や、真実さがお互いの心を動かし、楽しさが生まれてきたのでしょう。“ユースカフェ”の成果を見た思いがしました。一人一人が自分の「富士山」を作れるように講師の方の行き届いた準備が素晴らしく、若い人を応援する人たちがいることに嬉しさを感じました。あつという間の2時間でした。



錦玉羹

練り切り



▲講師の説明を熱心に聞く参加者



講師・参加者全員で一枚▲



Let's  
ボランティア

IEC News 編集で  
活躍されている  
吉原道代さんのお話です。

ふれあいフェアで▶  
(真中が吉原さん)



▲「青年の船」の活動で  
(手前マイクを持っているのが吉原さん)



着付け・茶道体験 (右側が吉原さん) ▲

一期一会という言葉が好きです。

国際交流に携わっていると一期一会の瞬間を感じる事がたびたびあります。お互いの国や文化の違いを超えて、偶然の機会を得て出会い、言葉を交わし、笑い合い、楽しい時間を共有できます。

学生時代から国際交流に関心があり、留学生との交流会に参加し、総理府「青年の船」団員として、諸外国をめぐる機会も得られました。出会えた人達との交流は今でも続き、私の大切な宝物となっています。

国際交流センターでボランティアを始めたのは2018年お正月の着物着付け体験イベントからです。現在は各種イベントに参加しながら、主にIEC Newsの編集に携わっています。IEC News編集部は活気があり、和やかな雰囲気を保ちながらも、お互いの原稿の内容チェックは疎かにしません。活動に対する姿勢は真摯そのものです。

そのようなところがとても居心地よいグループです。

ボランティア活動に参加してみませんか？

## 大好き! SAITAMA さいたま



イセラさん  
(ペルー)



ペルーからご両親(お母様は日系の方)と共に30年ほど前に来日し福島、宮城と学生生活を送りました。現在小学生のお嬢さん2人と御主人の4人家族でさいたま市に13年以上お住まいです。非常にきれいな日本語をお話しになります。スペイン語は福島のご両親と話しますが、子供さんとも出来るだけ話そうにしているとのことです。

日頃はペルー映画字幕翻訳のお手伝いをされていますが、さいたま市の海外姉妹都市トルカ市の少年スポーツ団が来訪した際、同時通訳でも活躍されています。

さいたまの良さ：都会過ぎず・田舎過ぎず、海外居住の経験者がたくさんいて、お付き合いしやすい。住みやすく子育てしやすい文教地区。

お薦めのスポット：鉄道博物館、大崎公園や玉蔵院や蓮昌寺の桜、調神社、埼スタ。

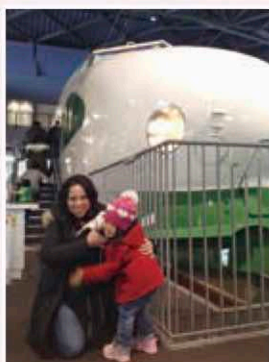
どのように日本語を勉強したか：学校側の配慮で小学5年生としてスタートし、TVやラジオからも必死に覚えた。1年位経つと突然霧が晴れるように意味が自然に頭の中に入ようになった。

好きな日本の食べ物：肉じゃが、果物(特に梨)。納豆は苦手ですが、お子さんは大好き。

趣味：映画鑑賞(字幕表現の勉強にもなるので)

ペルーに帰って感じた事：車は右側通行等、交通ルールが違うので運転が難しい。ペルーの人は明るい。劇場であるシーンを見ていて自分だけが笑えなかった時、旅行者になっていると痛感した。

これからの目標：ペルー映画が日本中に広まるようにお手伝いしたい。日本語を子供達に教えたい。その為にも日本語教師の資格を取りたい。



▲初めて乗った新幹線と(鉄道博物館で)



2019トルカ市からの方々と共に(中央左、白ウェア) ▲



## 総勢 9 名で国際交流センター事務局が 新たにスタート!

6月21日より、さいたま観光国際協会の常務理事（前列中央）に着任いたしました神田篤です。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの生活もコロナ禍前の日常に戻ってきている中で、国際交流事業が新たため大変重要な役割を担っていくものと認識しております。

在住外国人の皆様への生活支援や日本語支援をはじめ、本市に訪れる外国人の方々も含めた国際交流事業など、ボランティアの皆様方と情報共有し協力・連携しながら展開していくことが不可欠であります。

これからも、外国人の皆様方にとりまして住んでいて良かった、ずっと住み続けたい、また訪れたいと思えるような、さいたま市を目指して、国際交流センター職員一同、力を合わせ頑張ってまいります。



政令指定都市移行・区制施行20周年

# 国際ふれあいフェア 2023

もっと知ろうよ! 海外姉妹・友好都市

さいたま市の海外姉妹・友好都市6都市の紹介を始めとする国際色豊かなフェアです。



メキシコ合衆国  
トルーカ市



中華人民共和国  
鄭州市



ニュージーランド  
ハミルトン市



アメリカ合衆国  
リッチモンド市



カナダ  
ナナイモ市



アメリカ合衆国  
ピッツバーグ市

日時 10/8日 11:00~16:00

荒天時 9月・祝に延期

場所 浦和駅東口駅前市民広場  
JR浦和駅東口スペース  
※浦和駅東口です

詳しくは  
HPで!



## 編集後記

秋来ぬと 目にはさやかに  
見えねども 風の音にぞ  
おどろかれぬる

これは、古文の先生がいつも今頃、係り結びの典型例として板書されていた歌です。作者は藤原敏行(朝臣)で古今和歌集に収録されています。和歌は短文で様々なものを表現します。吹く風の音や、涼しさに季節の移ろいを感じ、特にこの後に来る冬の寒さは耐え難く、このため、春の歌が希望に満ち、活動的なのもうなずけます。

未だマスク姿の方が多く、この号が発行される頃には正常な状態に戻っていることを期待しております。

なお、前号の折句の答えは『さ、い、た、ま、し』でした。各段落の頭の文字を縦に読むと簡単ですね。でも、作るのはいへんでした。



## 公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)  
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルク上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL <https://www.stib.jp/kokusai/index.shtml>

